

ほっかいどう

広報紙

北海道が わかる つながる かわる

— 年6回 奇数月にお届けします —



一穴をあけて保存できます



特集 防災から始まる、住みよい暮らしづくり

「もしも」に備えれば、暮らしはより快適に。
一人ひとりが心がけ、
身近な防災に取り組みましょう。

自然の猛威は、私たちの生活に大きな影響をもたらします。
いざというときに命と暮らしをしっかりと守るためには、
普段からのちょっとした心がけが大切です。



日ごろから防災を意識して、
災害に強い地域を
みんなで作りましょう。

北海道知事 野村 靖子



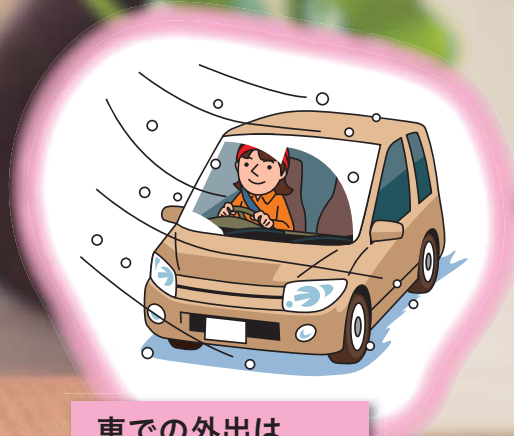
雪下ろしは
命綱をつけて複数で



除雪機は周りの人に
気をつけて



屋根の下では雪・
つらの落下に注意



車での外出は
天気の変化に用心



除雪や暴風雪による事故から身を守りましょう。

北海道の冬の生活で、最も注意したいのが雪による災害です。
道内では例年、屋根の雪下ろしや除雪などによる事故が多く発生して
います。一人ひとりが身を守るために注意を払う必要があります。

例えば、屋根の雪下ろしをするときには、一人ではなく複数で行うことが
大切です。万一に備えて命綱のほか、靴やはしごに滑り止めをつけ、通行人など
周囲の安全にも気を配りましょう。屋根の下を通るときには、雪やつらら
が落ちてくる危険があるので、歩行中も注意が必要です。

近年は、除雪機による事故も増えています。除雪機を使う場合は、機械に
巻き込まれないような服装にしましょう。周囲を通る人にも気を配り、途中
で雪が詰まるなどのトラブルが起こったら、必ず
エンジンを停止してください。

また、道内では停電や遭難といった暴風雪による災害も多く発生してい
ます。悪天候が長引く場合に備えて、懐中電灯や携帯ラジオ、暖房器具、
食料・水などを準備しておくことと安心です。

悪天候が予想されるときには外出を避け、家の中で過ごすようにしてく
ださい。万が一、外出中に暴風雪にあったときは、無理をせず、コンビニエ
ンスストアや道の駅などで天気の回復を待ちましょう。

雪に埋まった車の中は危険！

- 車が雪に埋まったら、エンジン停止。エンジンをかけ続けると、排気ガス
による一酸化炭素中毒の危険があります。
- 防寒などでやむを得ずエンジンをかけるときは、窓を開けて換気し、
こまめにマフラーのまわりを除雪してください。

Q. 知ってる？
このステッカー



詳しくは中面左下に

北海道全体で、災害に強い地域づくりを。

一人ひとりが防災意識を高めることは、自分の身を守るだけでなく、
家族や地域の暮らしを守ることにつながります。そのために道は、市町
村などと連携して総合的な防災対策を推進しています。

自然災害による被害を最小限にすることは、暮らしの安全・安心を
確保する基盤といえます。地域での日常的な防災力の向上を目指すこ
とにも、北海道全体で災害に強い地域づくりを進めていきましょう。

冬の節電は、身近にできる暮らしの備え。

冬は北海道で電力需要が最も高い時期。もし
も電力不足が起こると、私たちの暮らしにさま
ざまな影響が出てきます。そうした事態を避け
るために、電気製品の使い方を工夫し、できる限
りの節電に取り組みしましょう。皆さんのご理解と
ご協力をお願いします。

家族でできる「もしも」の備え

防災気象情報が出たら、防災行動の第一歩を

わが国では、台風や低気圧、前線などによって、毎年のように風水害や土砂災害などが発生しています。

このような災害の影響を少しでも減らすため、気象庁では、災害が起こる恐れのあるときに「注意報」を、重大な災害が起こる恐れのあるときに「警報」を発表して、注意や警戒を呼びかけています。

また、注意報・警報は現象の始まる数時間前に発表されますが、それらの可能性について約1日前に予告する「気象情報」を発表



全道と札幌周辺の天気を予報する札幌区気象台
することもあります。これらの防災気象情報に注意を払い、防災のための行動にご活用ください。

防災気象情報 検索

防災情報をネットやメールで確認!

道では、防災情報システムにより、警報・注意報、地震・津波情報、避難情報、洪水・噴火警報などをインターネットやメールで提供しています。また、関係機関が提供する通行止などの道路情報もご利用ください。

- ▶防災情報を知りたいときは
北海道防災情報 北海道防災 検索
 - ▶道路情報を知りたいときは
道路交通情報 北海道地区道路情報
道路交通 検索 北海道道路 検索
- 携帯短縮ダイヤル #8011

ハザードマップを確認しよう

ハザードマップ(防災地図)は、地域の皆さんが避難するために必要な防災情報を地図上に示したもので、地震・津波、洪水、土砂災害、火山噴火などの災害について作成されています。

自然災害が予測される区域や避難場所、避難経路が掲載されていますので、あらかじめ確認しておくことが大切です。

ハザードマップについては、お住まいの市町村にお問い合わせください。

身近なことから備えよう! 災害に強い地域づくりを目指して

日ごろの心がけが防災意識につながります。

札幌区気象台 気象防災予報課 課長 柴田 誠司さん

私たちが発表する防災気象情報は、災害による犠牲者を出さないために注意・警戒を呼びかけるものです。特に北海道の冬は、天気の変化が激しく、曇りや雪が降り始めても午後から吹雪になることも珍しくありません。

普段からも、天気予報を参考にして外出の予定を立てたり、注意報や警報が出ている場合は無理をしないなどの心がけが大切です。日々のそうした積み重ねによって防災意識は自然に高まり、いざというときにも適切な行動で身を守ることができると思います。



地域の防災力を高めるために

災害による影響を最小限にとどめようと、道は、地域での防災活動を活発にする取り組みを進めています。

その一環として、市町村等で防災に関わる業務を経験してきた方などに、地域の防災活動の担い手になっていただく「北海道地域防災マスター」制度を設けています。

地域防災マスターへの活動依頼などについては、総合振興局・振興局または市町村の防災担当窓口にお問い合わせください。



講座で行われる避難所運営ゲーム

住民の視点を生かし、防災を暮らしの知恵に。

とちか防災マスターネットワーク 代表 青木 達彌さん

全道1,200人以上の地域防災マスターのうち、十勝管内の有志約80人が参加しているのが、道内で最初に組織化した「とちか防災マスターネットワーク」。地域の公共・商業施設などで行う講座では、避難所運営ゲームなどを通じて、防災を身近に感じてもらえる工夫をしています。

現役時代、自治体職員として防災業務に携わった経験から、災害時に地域住民の声をすぐに得られるしくみが必要だということ。住民が防災に関心を持つことによって、暮らしの安全を守るための知恵が地域に定着していくと思います。



一石二鳥の工夫で日常からできる防災活動を。

「防災は特別な備え」と思いがちですが、私はむしろ「日常の延長でできることが大切」と講演などでお話しています。

例えば、災害時に役立つ携帯ライトやホイッスルは、キーホルダーにつけて持ち歩く。備蓄品の缶詰は、賞味期限を見ながら普段の料理にも使う。そうした一石二鳥の工夫を楽しみながら増やしていくことが、防災行動として非常に重要です。

防災活動を進めるうえで重要なのは、一人ひとりが身に置き換えて考えること。子どもからお年寄りまで、さまざまな生活者の視点を取り入れた防災活動が北海道に広がっていくことを願っています。

防災教育で地域の安全づくり

道民の皆さんが防災について正しい知識を身につけ、いざというときに的確に行動できるよう、道は今年度から防災教育の取り組みを進めています。

その一環として、昨年度に実施した防災教育のモデル講座では、住民同士が地図を囲んで避難方法を話し合ったり、地域を歩いて危険箇所を確認したりなどの体験を行いました。

今後はさらに、皆さんが地域で学ぶためのテキストやカリキュラム、全国の取り組み例などを充実させ、春からホームページなどで紹介していきますので、ぜひご利用ください。

また、下記のフェイスブックで情報を発信中です。
「ほっかいどうの防災教育」フェイスブックページ
<http://www.facebook.com/hokkaido.bousaikyouiku>

消防団に参加しませんか あなたの大切なまちを守りましょう

消防団は市町村の消防機関で、会社員や自営業者、主婦、大学生など、18歳以上であれば性別や職業などを問わず、どなたでも参加できます。

消防団では、日ごろは放水訓練や地域の防災意識を高める啓発活動などを行い、災害時には、消火活動や避難誘導などを行っています。女性団員も応急手当の普及指導などで活躍しています。

興味のある方は、お近くの消防本部・消防署にお問い合わせください。

▶道庁危機対策課消防グループ ☎(011)204-5009

お知らせ!

赤れんが

道からのお知らせです。お問い合わせは ▶マークの窓口、またはホームページへ。

冬道での交通事故防止

危険予知とスピードダウン

十分な車間距離と路面状況に合った安全速度、早めのブレーキなどが大切です。

- 「急」のつく運転操作は危険
- 交差点付近は滑りやすいので特に注意
- カーブに入る手前で十分な減速を
- 自転車や歩行者の動きに注意
- 吹雪や大雪のときには、気象状況、道路交通情報の確認を

▶道警本部交通企画課 ☎(011)251-0110

高病原性鳥インフルエンザ対策

野鳥との接し方にご注意を

高病原性鳥インフルエンザの発生を防ぐため、死んでいたり、衰弱している野鳥を見つけたら素手で触らないようにしましょう。

野鳥の糞などに触れた後は手洗いがい、踏んだ後は靴底を洗います。

▶道庁生物多様性保全課 ☎(011)204-5205
▶道庁畜産振興課 ☎(011)204-5441

脳梗塞に対する再生医療の治験に参加ご希望の患者さんへ

脳梗塞は、現在の最新医療でも後遺症が残ることが多い病気です。患者さんご自身の骨髄液から間葉系幹細胞を採取・培養後、静脈内に点滴投与することで、後遺症の軽減をめざします。

- 【対象者】
アテローム血栓性脳梗塞の患者さん
- 【参加できる方】
●脳梗塞発症から20日をめぐりに転院できる方 ●初発のアテローム血栓性脳梗塞である方 ●歩行や体を動かす動作には介助が必要である方、または、常に介護と見守りをする方 ●年齢が20歳以上65歳未満の方
- 【参加できない方】
●意識状態の悪い方 ●B型肝炎や梅毒などの感染症をもっている方 ●貧血が強い方 ●脳卒中などの再発の可能性がある方 ●脳梗塞以外の脳の疾患のある方、または、既往のある方 ●悪性腫瘍や重度の疾患の既往がある方 ●ペニシリンアレルギーおよびショック、アナフィラキシー様症状などの既往のある方 ●全身状態が不良な疾患(腎疾患、心疾患、肝障害)などがある方
- 【治療期間】約5カ月(入院)
- 【募集期間】平成25年3月～平成30年3月
- 【実施医療機関】
札幌医科大学付属病院 神経再生医療科
- 治療の問い合わせ先
▶北海道公立大学法人札幌医科大学 附属病院 脳神経科 ☎0120-265-016
- 札幌医科大学に関する問い合わせ先
▶道庁大学法人室 ☎(011)204-5230

道営電気事業について

豊かな水が導く北のエネルギー

道では、道内7カ所で水力発電所を運営しています。水力発電は純国産エネルギーであり、CO₂排出量が非常に少ない再生可能エネルギーです。

現在、夕張市に、新たな水力発電所(シュバロ発電所)を建設中で、ここでは年間約2万6千世帯に相当する発電を計画しています(平成27年度運転開始予定)。

なお、発電所運営で得たノウハウをもとに、再生可能エネルギーの導入を目指す市町村にアドバイザーや現地での指導も行っています。

▶北海道企業局発電課 ☎(011)204-5674

道産食品独自認証制度

「きらりっぷマーク」が目印です

道産食品は、新鮮さやおいしさ、安全・安心であることが、全国で高く評価されています。道では、この信頼に応えるため、道産食品独自認証制度(愛称:きらりっぷ)に取り組んでいます。

この制度は、農産加工品、畜産加工品、水産加工品の21品目について、道産原材料の使用、生産工程、衛生管理、食味など独自の基準を満たした食品だけを認証しています。どうぞご利用ください。

▶道庁食品政策課 ☎(011)204-5432

ノロウイルスによる感染性胃腸炎・食中毒を予防しましょう

毎年冬期には、ノロウイルスによる感染性胃腸炎・食中毒が多く発生しています。

十分な手洗い、次亜塩素酸ナトリウム(家庭用漂白剤)による消毒、食品・調理器具等の加熱処理で感染を予防しましょう。

▶道庁地域保健課 ☎(011)204-5253
▶道庁食品衛生課 ☎(011)204-5261

旭川美術館 特別展

生誕110年 山口正城展

旭川生まれの山口正城は、ドイツの造形教育機関「バウハウス」の理論に共鳴し、デザイン教育に力を注ぐとともに、工業デザイナーとして、日本の抽象絵画の草分けの一人として活躍しました。その創造のされています。道では、この信頼に応えるため、道産食品独自認証制度(愛称:きらりっぷ)に取り組んでいます。

この制度は、農産加工品、畜産加工品、水産加工品の21品目について、道産原材料の使用、生産工程、衛生管理、食味など独自の基準を満たした食品だけを認証しています。どうぞご利用ください。

▶道立旭川美術館 ☎(0166)25-2577

節電・省エネへのご協力をお願いします

オール北海道で6%以上の節電を

節電メニュー(家庭編)

照明	不要な照明をできるだけ消しましょう。	節電効果(削減率)	6%
テレビ	省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要とき以外は消しましょう。	節電効果(削減率)	3%*
冷蔵庫	冷蔵庫の設定を「弱」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込みすぎないようにしましょう。	節電効果(削減率)	2%
温水洗浄便座	便座保温・温水の設定温度を下げ、使わないときはふたを閉めましょう。	節電効果(削減率)	1%
ジャー炊飯器	早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存しましょう。	節電効果(削減率)	2%
待機電力	リモコンではなく、本体の主電源を切りましょう。長時間使わない機器は、コンセントからプラグを抜きましょう。	節電効果(削減率)	2%
洗濯機	洗濯物は容量の80%を目安に、まとめ洗いをしましょう。		
掃除機	紙パック式はこまめにパックを交換しましょう。		
電気ポット	長時間使わないときはプラグを抜きましょう。		
暖房機器	室内の設定温度を20℃にしましょう。なお、寒さを感じた場合は少し厚着をしましょう。		
ウォームシェア	鍋物など、温かい食事を家族と一緒にとりましょう。		

*標準省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合。
*食品の備みにご注意ください。

▶節電に関するお問い合わせ 道庁環境・エネルギー室 ☎(011)204-5886

省エネアクションチャレンジ2013

冬の陣: 1月31日まで

2013年11月、12月、1月の電気使用量を前年より削減すると、抽選でプレゼントが当たる!

えご之助オリジナル手ぬぐい(33×90cm) 2,500名様

特別賞 100名様

さらに抽選で企業協賛品をプレゼント!
協力:北海道地域電力供給協議会(12月、1月分)

省エネアクションチャレンジ事務局 ☎011-214-5142 (10:00~17:00 土日祝を除く)
または ホームページへ 3S北海道 検索

▶家庭の省エネに関するお問い合わせ 道庁地球温暖化対策室 ☎(011)204-5189

ちよびエコ

白熱電球(54W)をLED電球(9W)に替えると年間約2,280円の節約。

※参考/北海道経済産業局「実践!おうちで省エネ(平成25年度)

北海道つながる・ひろがる物語

省エネ編

ミルクヒートポンプ/北海道新エネルギー事業組合【中標津町】



生乳温度を利用して省エネを可能にするミルクヒートポンプ

二酸化炭素も削減できるシステムを完成。現在は、北海道新エネルギー事業組合がPRや販売の窓口となり、システムの普及を促進しています。

搾乳したての生乳は約38℃。この生乳を急速冷却するには多くの水が必要です。一方で、搾乳機器を洗浄するためには80℃以上の大量の温水を用意しなくてはなりません。「この無駄な生乳冷却廃熱を利用できないか」とミルクヒートポンプの開発に乗り出したのが、地元の酪農家と取引のある(有)柳田電気。道立総合研究機構と共同研究を進め、生乳の熱を温水に有効利用することで水道光熱費を約30～40%、

異業種の知恵や技術を結集し、地域が抱える環境問題を解決する新たな取り組みをご紹介します。

搾りたての生乳の熱を利用して温水をつくり、低コストで牛乳も冷却できるシステムを開発。

酪農家のコスト削減を考えたら省エネにつながる。

飼料や資材価格の高騰が続く中、酪農家にとってコスト削減は重要な課題。このシステムは、搾乳直後の生乳を熱交換器に通して熱を循環液に取り込むことで貯蔵する生乳を短時間で冷却、取り込んだ熱をヒートポンプで圧縮することで60℃の温水をつくることができます。



北海道新エネルギー事業組合 代表 寺端 祐介さん

省エネの面でも貢献度が高く、100頭規模の生産者で年間3.1klの原油、6.4トンの二酸化炭素を削減可能。地域全体に普及させて、省エネに積極的に取り組む酪農地帯にしたいですね。

▶お問い合わせ 北海道新エネルギー事業組合 ☎(0153)73-2050

報告します! 道議会

北海道議会の概要などをお知らせします。

平成25年第4回定例会 (11/28~12/12)

閉会中に委員会で審査していた決算案件4件を、招集日に認定議決しました。最終日には、知事から提案された予算4、条例18、その他5の27案件を原案可決、人事案件1件を同意議決しました。また、会期中に議員及び委員会から提出された決議案1件を可決、意見案8件中7件を可決しました。

- 可決された決議案の主な内容
 - 中国政府による一方的な防空識別圏の設定に厳重抗議し、公海上の飛行の自由を制限する一切の措置の即時撤回などを求める
- 可決された意見案の主な内容
 - TPP交渉における農林水産分野の重要品目の関税が維持されるよう、不退転の決意で臨むことを要望
 - 私立専修学校における「職業実践専門課程」認定制度の着実な推進や恒久的な授業料減免措置を講ずるなど新たな財政支援措置を要望
 - 外国人技能実習制度の見直しや評価に当たり、地域にとって経済の活性化に寄与し、生産活動と適正な実習活動が、より効果的に図られるよう検討を要望
 - 子宮頸がんワクチンの安全性などについて慎重かつ徹底した評価検討

- 4ワクチン(水痘、おたふく風邪、成人用肺炎球菌、B型肝炎)の定期接種化の検討を要望
 - 将来にわたる医療提供体制を守るため、国民皆保険制度を堅持し、混合診療全面解禁など過度な規制緩和を行わないこと、医療の消費税問題の抜本的解決を図ることなどを要望
 - 米の新たな需給調整制度の導入や日本型直接支払制度の創設に関し、農業者が安心して農業経営が続けられるよう十分配慮することを要望
- 本会議では、一般質問16人の議員が道政上の諸課題について活発な議論を行いました。主な質問項目は次のとおりです。

行財政運営、原発政策、TPP、JR北海道、HAC、特定秘密保護法案、食品表示問題、エゾシカ対策、道立病院、子宮頸がんワクチン、エネルギー政策、雇用対策、海外との経済交流、米政策の見直し、日本海における漁業振興、新たな木材需要の創出、公共土木施設の維持管理、建築物の耐震化、学力向上対策、いじめ問題、文化財の保護 など

～ホームページをご覧ください～
道議会ホームページでは、本会議の日程や審議概要、会議録など、さまざまな情報をご覧いただけます。

次回定例会のお知らせ
平成26年第1回定例会は、2月19日(水)開会予定です。

北海道議会

▶議会事務局政策調査課 ☎(011)204-5691

アンケートに答えて道産品を当てよう!

おいしい **北海道プレゼント!**

「きのとやバームクーヘン」(Mサイズ)をプレゼント!
北海道の素材と製法にこだわり完成したおいしさです。

※写真はMサイズ

抽選で **50名様**

●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

次のアンケートにお答えください。

広報紙「ほっかいどう」1月号はわかりやすかったですか?
①わかりやすい ②ふつう ③わかりにくい

●応募方法: アンケートの回答、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。

●応募先: ハガキ 〒060-8588 北海道広報広聴課「おいしい北海道プレゼント!」係

パソコン 携帯サイト

●応募期限: 1月31日(金)必着
応募いただいた方の個人情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。

北海道の人口	総人口	男	女
平成25年9月末	5,446,024人	2,577,703人	2,868,321人
前年同月比	29,759減	15,760減	13,999減

※人口は年4回公表される統計資料に基づき直近のデータを掲載しています。

●掲載記事の関連ページ、広報紙アンケート結果、広報紙のバックナンバーなどの閲覧は右記からアクセスできます。

この印刷物は環境に優しい植物性インキと古紙配合率70%再生紙を使用しています。本文には見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

次号のお知らせ 3月号は3月5日(水)から配布予定です。

※この広告は、広告主の責任において北海道が掲載しているものです。

広告